

氷・雪に起因するすべり転倒防止に関する研究

【研究概要】

広く一般的な対応可能性が高い氷・積雪面側の対策に着目し、すべり防止として氷・積雪面に散布する砂の粒径や量の好適条件を明らかにすること、靴底として開発された乾燥・濡れた氷面の両面において高い摩擦係数を示す不織布材料の氷・積雪面用耐滑シートとしての有効性を明らかにすることを目的とする。

また、氷面や積雪面でのすべり転倒災害について統計的傾向を明らかにすることを目的とする。その上で統計的傾向より、冰雪上のすべり転倒に及ぼす認知的要因の影響を実験的に明らかにする。これらの知見を活かして氷あるいは雪によるすべり転倒災害防止を目指す。

研究スケジュール：サブテーマ1

研究開発項目・マイルストーン	R8年度		R9年度		R10年度		R11年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	5Q	6Q	7Q	8Q
サブテーマ1: 防滑材による雪氷上のすべり抑制に関する研究								
(1-a) 実験装置の製造, 実験環境整備	←→							
(1-b) 被験者によるすべり試験実施			←→					
(1-c) (1-b)の結果分析					←→			
(1-d) 装置による摩擦係数測定				←→				
(1-e) (1-d)の結果分析						←→		
(1-f) (1-c), (1-e)にて得られた成果の公表							←→	

研究スケジュール：サブテーマ2

令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	現場調査(寒冷地労働局、労働基準監督署等への訪問ヒアリング)		
	労働者死傷病報告データ分析	雪氷労災の実態把握のとりまとめ	
被験者を用いたすべりやすさの認知実験 準備・倫理審査	予備実験・本実験	データ分析	
	学会発表	学会発表	学会発表
			研究成果の論文化